

2024年4月26日 第3467回例会

於： 横須賀商工会議所



<点鐘・開会> 12:30 藤村 会長

<斉唱> 「我等の生業」

<ゲスト紹介> *米山奨学生 金 翰旻 様

<会長報告> *ガバナー事務所から

・2024-25年度インターアクト委員会・アクターズミーティング
開催のご案内について

5月11日(土) 13:00~委員会

14:00~アクターズミーティング

場所：第一相澤ビル8F

<委員長報告> *地区研修・協議会 小林(康)実行委員長から御礼

*親睦活動委員会 比護委員長から最終例会について

*八巻カウンセラーから青少年交換留学生懇親会 報告

<米山奨学生へ奨学金授与>

<幹事報告> *現次委員長会議開催について 本日18:30~ 場所：住よし

<出席報告> *出席委員会 小平委員から4月26日の出席報告

会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
116名	105名	66名(2名)	39名	19名	80.19%

メイクアップ：岡田(圭)、岡田(英)、小沢、小保内、加賀本、小佐野、児玉、小山(陽)、柴田、鈴木(康)、竹株、土田、中村(清)、中村(正)、三堀、南、山下、渡辺(努) 各会員
地区研修・協議会 出席 新倉(定)会員 葉山RC 出席

<ニコニコ報告>

・三 役 米山奨学生 金 翰旻さんようこそ！楽しんでください。

・石田、小澤、佐久間、前田、斎藤眞、笠木 各会員

米山奨学生 金翰旻様ようこそいらっしゃいました。例会をお楽しみください。

・岡田(眞)第1グループガバナー補佐、鈴木(勲)補佐付幹事

地区研修・協議会皆様ご協力本当にありがとうございました。今回は五大奉仕の中の地区の皆様へのクラブ奉仕(地区奉仕)。皆さまの良かったとの声や、笑顔を見て横須賀RCの思いが少しは通じたのではないかと思います。皆さんにまた、参加したい、今度は自分がやってみたくと少しでも思ってもらえたら嬉しいです。では、9年後にお会いしましょう。

・小林(康)地区研修・協議会実行委員長 21日の地区研修・協議会を大成功に終了する事が出来ました。皆様、本当にありがとうございました。

・三 役 横須賀RC会員の皆様、地区研修・協議会実施にあたりご協力いただきありがとうございました。

・三 役 第3回クラブ協議会よろしくお願いいたします。

・比護、荻山、永井、小澤、Loknath、福西、梁井、植田、森、江口、杉浦、斎藤眞、澤田、田邊、角井、松岡 各会員

本日は第3回クラブ協議会です。地区研修・協議会の部門別協議会に参加された会員の皆様、各部門の報告をよろしくお願いいたします。

・大野(健)、椿、田中、濱田、権田、兼城 各会員

地区研修・協議会の準備・運営をしながら部門別協議会にも参加した私たちの話を是非聞いてください。どうぞよろしくお願いいたします。

・比護、荻山、加藤(眞)、八巻、大石、上林、松本(勲)、萩原、八木、

岩 崎、吉 田、小 平、杉 浦、寺 田、佐久間、長 尾、徳 永、白 井、
鈴木(南)、齋藤(南)、小林(一)、松 岡、小山(南) 各会員 祝！地区研修・協議会。大成功！

- ・物 井 会員 地区研修・協議会、交通係りも活躍しました。木村さん、小山さんありがとうございました。「ホスト終え、苦労も桜も散り 笑顔」
- ・ 2番テーブル濱田マスター、曾我サブマスター 昨日4月25日、チャイニーズレストラン凛にて藤村会長、高橋副会長、鈴木之一幹事、角井SAAにご出席いただき、2番TMを開催いたしました。非常においしい中華料理のコースをいただきながら会員間の親睦を深めることができました。
- ・齋藤(南)、小林(南)、梶 木、佐久間、加藤(南)、野 坂、角 井 各会員
4月25日、チャイニーズレストラン凛において2番テーブルミーティングが行われました。多くのテーブルメンバーが参加して美味しい料理とお酒を堪能しました。ご参加いただいた三役、SAA、濱田マスター、曾我サブマスターありがとうございました。
- ・吉 田、野 坂 両会員 飯塚会員、ネームプレートとうとう1列目に！おめでとうございます。
- ・木 村、高 橋、八 巻 各会員 4月26日、三宅さん誕生日おめでとうございます。

<卓 話> 第3回クラブ協議会（地区研修・協議会報告）

◇会長部門 高 橋 隆 一 会員

4月21日、県立福祉大学での地区研修・協議会で会長部門の研修を受けさせていただきました。

当日は、午前中の全体会議、午後からの各部門研修に分かれていました。

まず、田島ガバナーから『次の世代の社会をいかに育てるか』をよく勉強していただきたいというお話がありました。そして、佐々木エレクトから「次年度テーマ『ロータリーのマジック』に好きな言葉を加えていただきたい、地区のテーマとしては『ロータリーのマジックを行動で示そう』です」というお話に次いで、「現在ロータリーは変曲点にあり、毎年15万人が入会し16万人が退会していく。退会者の多くはロータリーの楽しさを感じないで退会されてしまう。新会員の立場に立って考えてみましょう」と話されました。

また、「今後3年間の継続性を持たせることを考え、ラーニング・ファシリテーターの存在を各クラブに創ってほしい。そして、地区委員会の適正化を図り委員の数を190人程度に減らすので、地区委員会と各クラブの委員会に地区委員会に参加してもらい連携を図っていく。活性化のためには例会、奉仕活動の質を高めましょう。変化はロータリファミリーから起こしましょう。大切なことは他人の役に立つ未来を切り開き行動する人の繋がり、思いやりの持てる団体となっていくことです」とも話されました。

午後からは部門別研修になりました。

田島ガバナーから会長の心得、佐々木エレクトから地区方針についてのお話があり、その後、松下ノミニ一からクラブの継続と変化についてのディスカッションが行われました。

会長の心得は、会の運営についてで、予算作成、役員の編成、会の運営等多岐にわたる説明でした。

「我々は魔法を使えるわけではありません。我々会員個々が行動を起こしプロジェクトを行い募金や寄付を行うことにより、そこにマジックが起こると信じます」との地区方針が示されました。

「クラブ活性化のために①現会員のスキルの再確認、②新会員の入会活動、③新クラブの結成と育成をしよう」との話があり、数値目標が掲げられました。

当クラブの皆様におかれましても、前述した通り3年間の目標をクラブセントラルに記入し、都度修正を加えながら進捗状況の確認を行ってください。

ディスカッションでは各クラブエレクトからの自クラブに抱える問題点を話し合いました。

研修の中で一番感じたことを紹介しますと、「ロータリーが変わった。魅力がなくなった。悪くなったと思う会員の方々に今一度考えてもらってください。ロータリーの活動をするのはクラブと会員であって、ガバナーでもRIでもありません。皆さんです。ロータリーは奉仕団体といわれますが、正確にはロータリーは奉仕する人の集まりです」という話です。

次年度を開始する時期が近くなり大変緊張しておりますが、会員の皆様と共に再度、個々の目標を見直して自己の研鑽・鍛錬に基づいて、目標である「責務の完遂」をすべく最大限の活動を目指していきたいと思います。

◇クラブ管理運営部門 長尾和典 会員

さる4月21日(日)、県立保健福祉大学にて開催されました地区研修協議会のクラブ管理運営部門には、次年度副会長の渡辺磨会員の代理で私が出席いたしましたので、本日のご報告も私が代理でさせていただきます。

本部門の協議会には56名の参加者がございました。

冒頭まず、リーダー、サブリーダーのご紹介のあと、辻彰彦サブリーダーから

(1) クラブの効果的な管理運営に関する活動

(2) My Rotary に登録して中味を見てください。というお話がございました。

次に相澤光春パストガバナーから約45分間にわたり、「クラブ活性化における戦略計画」をテーマに28項目のお話がございました。

1. Rotary の進化発展のために
2. Rotary の理念
3. 国際 Rotary 戦略計画
4. 中核的価値観
5. Rotary の奉仕理念
6. Club の戦略計画立案の重要性
7. 効果的な Rotary Club
8. 戦略計画
9. クロスロード
10. 奉仕の実践と公共イメージ
11. 行動計画(方針)の推進
 - A. より大きなインパクトをもたらす
 - B. 参加者の基盤をひろげる
 - C. 参加者の積極的なかかわりを促す
 - D. 適応力を高める
12. 価値観を行動に
13. 奉仕の概念
14. 「地域社会への参加」と「新しい人との出会い」
15. Rotarian の行動規範
16. DEI の行動規範
17. DEI がなぜ必要なのか
18. 地区 Vision づくり
19. エレメント
20. エレメントと理想の奉仕活動
 21. 地区 Vision の策定
 22. 地区優先事項
 23. 重点分野
 24. Global 補助金によって実施される奉仕活動の Category
 25. Rotary の特別月間
 26. Rotary の特別週間
 27. Rotary の活動における「理念と実践」
 28. 終わりに

その後、休憩をはさんで、能勢健一サブリーダーから My Rotary に登録して

- (1) 情報を得てください
- (2) Rotary を知ってください
- (3) Rotary を学んでください
- (4) 世界の Rotary とつながってください

というお話がございました。その後、能勢サブリーダーが無作為に出席者に話しかけられて、その出席者の Club では自慢になるような活動や取り組みがないかと尋ねられ、それぞれの出席者がご自分の Club の活動についてお話をされました。

以上ご報告いたします。

◇公共イメージ部門 加賀本 好美 会員

公共イメージ部門の分料会が神奈川県立保健福祉大学で開催され出席させていただきました。

まず、初めに杉岡芳樹パストガバナーから『ロータリーの公共イメージを築く』ということテーマにお話がありました。

- ・ロータリーの認知度を上げる→ロータリー活動の発信が大事
 - ・ロータリーの公共イメージを向上させる→ロータリーの奉仕活動を伝える
- 個々の会員がブランド（ロータリークラブ）の推進者となり、会員自らがロータリーを改めて見直し学ぶこと、それがクラブを活性化させる切っ掛けになる。
- ・何が大切で何をすればいいのか？→それは会員の方たちの話し方・伝え方が大切であり大事である。それには会員自身がロータリーのことを理解しなければならないとのことでした。

次に杉本剛昭次年度副委員長からビジュアルアイデンティティについての説明がありました。

最後に松下力現・次年度委員長からクラブの認知度と公共イメージを高める方法と実践についてのお話がありました。

若い人ほど、男性より女性のクラブへの認知度が低い。より若い人へロータリーの活動を知ってもらいたい。SNSを通じて20代から40代・多くの女性・地域社会にクラブが実践している奉仕プロジェクト・親睦（家族例会）など奉仕をしながら、さまざまなロータリアンの笑顔での活動シーンを発信することがロータリーの認知度と公共イメージにつながると教えていただきました。

その後、6つのテーブルに分かれてロータリーが実践する奉仕プロジェクトを認知度向上・公共イメージ向上につなげる手段や方法を自由に考え発

想してみようとのテーマでテーブルごとにディスカッションが行われ「ロータリー題材の漫画を作る」などさまざまな発想の発表が行われました。

お話の内容も分かりやすくとても勉強になりました。よい機会をいただきありがとうございました。

◇会員増強部門 濱田 恵里 会員

1905年に4人で創立したロータリーは直後に2人になってしまった時から、会員増強は課題となってまいりました。

会員増強は、「会長が腹を決めて目標を明確にて動く！」これにつきていうことでした。

この動くは、会員全員で行うことが大事で、年度に関係なくロータリアンにふさわしい方にはいつでも声をかけていただくのが純増につながるとのことでしたので、明日からと言わず今日から皆様も申込用紙を常に持って行動していただけたらと思います。

相模原南ロータリークラブは「衛星クラブ」をつくり、年会費を抑え、例会も月に1回と少なくすることにより退会会員が戻ってきたいということもありました。

また、会員維持はクラブが有意義で楽しいと思えるような工夫が必要だということでした。

◇社会・国際奉仕部門 田中 由紀子 会員

社会国際奉仕部門は、来年度国際奉仕委員長の加藤淳会員と一緒に出席いたしました。地区研修委員の茅ヶ崎中央ロータリークラブの田中重光氏の司会によりスタートし、冒頭は田島透リーダーによる社会奉仕の理念についてのお話がありました。

「多くの人と共に奉仕を実践することでロータリーの存在を多くの人に知らせ、奉仕の大切さを一緒に感じるによりロータリーの認知度の向上につながる」との説明がございました。

その後、社会奉仕実践事例といたしまして、茅ヶ崎中央ロータリークラブの林正基氏から能登半島地震が起きた直後に、茅ヶ崎中央ロータリークラブとして地元能登のロータリークラブと連携し、支援物資を届けたとお話がありました。地震が起きた直後ということで、現地に支援物資を届けることはクラブの中でも当初賛否があったようですが、やはり行った方が良いという結論に至り、会員2名が車で届けたとのことでした。

最後にグループディスカッションがあり、その中で印象に残っている奉仕活動は、茅ヶ崎湘南ロータリークラブでは地元の子どもたちにサーフィンを教える活動をしているということで、地域性を活かした奉仕活動だと感じました。

◇職業奉仕部門 椿 和 香 会 員

職業奉仕部門では、初めに佐野リーダーの基調講演が行われ、「職業奉仕とは」というテーマに沿ってお話しされました。自分の職業を通じて他人を助けることを考えるということ、ロータリーは元より事業経営、人生においても大切な奉仕活動、人生活動であり職業の持つ「多面的奉仕と世界にまたがる人道的奉仕は、決して相反するものではなく一体として融合することこそ奉仕の理念にかなうものである」ということでした。

続いて、2023-2024年度の報告が島村サブリーダーから行われ、2008年RI国際会議において行われた渡辺RI理事の講演資料からのお話があり、ロータリーを樹木に例えたお話がとても印象的でした。

その後、大和RCの実例のお話があり、最後に次年度の前沢委員長から次年度の方針について「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」と考えるとのこと。

例年1月に各クラブで卓話を行っていましたが、次年度はないかもしれないと、結論的にはまだ決まっていないとのことでした。

当クラブとしては、どのような方針が決まっても意向に沿いながら、高橋会長の下やるべきことを行っていきたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

◇青少年奉仕部門 小 山 陽 生 会 員

まず始めにリーダーである中込青少年委員長から昨年度から復活しましたRYRAの皆さんが企画し、私も出席したRYRAセミナーについてのお話がありました。RYRAの対象年齢は、14歳から30歳だそうです。RYRAとは日本語に直すと「ロータリー青少年指導者育成プログラム」となります。

3月のRYRAセミナーでは、今までインターアクト、ローターアクトROTAX、RYRA、米山奨学生とほとんど個々で活動していましたが、今回は、RYRA主導で国籍や年齢という枠にとらわれず、出席者たちも班ごとに別れ楽しそうにゲームやカリキュラムを協力してこなし、親睦を深めたことと思います。

中込リーダーは昨年、全国RYRA研究会に招待され、その中で2027年度この研究会を2780地区で開催するバトンを奇しくも中込さんがガバナーの年度に行う約束をしたそうです。

次に私が該当します次年度青少年交換委員長の遠藤さんから『次年度は地区委員が17名から10名に減少する中、この委員会のやり甲斐を熟知している当委員の皆さんは、今年度と変わらず交換学生が安心して学祭生活を過ごせるよう、やり抜く決意だそうです。その思いの一端を理解していただけたらと思うので、是非とも毎月1回15時~17時で開催している交換留学生のオリエンテーションに参加してくださいと宣伝していました。

他の委員長の皆さんの貴重なお話もあったのですが、割愛させていただき、最後にサブリーダーとして司会役を務めました相模原南RCの杉崎さんに久しぶりにお逢いできましたが、この一年半余りで体重を8キロ落とし、引き締まった体に変貌していました。私も減量しなくてはと心に誓いました。

◇ローターアクト部門 大野健男 会員

私が出席した部門では、決められたテーマに沿ってグループディスカッションを中心に行いました。まず、初めに久保田PGから今回の研修の趣旨説明を受けました。

ディスカッションのテーマ

1. ローターアクトの自立へのロードマップ
2. RCがRACに対して、RACがRCに対して望むこと
3. ①、②を通しての全体ディスカッション

Aと②に関してはRCとRACに別れてディスカッションを行いました。

RC

- ・RCからRACの位置づけを提案する。
- ・目標となる、シンボリックになる活動を作り上げる。その方がロータリーもサポートしやすい。
- ・RC→RACに提案を続ける。若い人の方が発想力と行動力があるので良い活動ができるのではないかな。

RAC

- ・理想→組織運営の自己完結&周りへの発信→そうすれば自分が組織の一員と思えるのではないかな。
- ・自分たちで問題提起→運営し解決達成する。
- ・現実→人が足りない、資金もRCに頼っている。
イベントもなかなかできていない。

全体ディスカッション

- ・RC側の理解、興味が不足している部分。ロータリアンがローターアクトを理解すると、もっと提案も可能になる。
- ・RAC側にもRCへの理解が不足している部分がある。お互いの会員紹介などが増えれば良いのではないかな。
- ・RACと提唱クラブとだけではなく、他のRCとの交流が図れるともっといい関係がつかれるのでは。各RCが行っているイベントにRACへの参加を促すためにも今後の交流を図ってもらいたい。「2780地区のローターアクト」という自覚の下、提唱クラブ以外のRCとの交流が図れると良い。

といったさまざまな意見が出ました。

最後に私の個人的な感想は、いろいろな意見を聞くことができた良い研修会であったと思います。まずは、お互いに理解を深めるために接点を増やす機会をつくらなければならないのではないかなと感じました。その上で、お互いが補完し合う関係性が築ければ良いのではないかなと思いました。

◇ロータリー財団部門 土田匡明 会員

まず初めに、ロータリー財団に活用についての説明があり、今回は地区補助金の申請が前年度9クラブから27クラブに増加し、ほぼ希望通りだったとのことでした。

次に、補助金の種類と配分、事例報告があり、地区補助金、グローバル補助金の説明では、グローバル補助金奨学金では7つの重点分野として①平和と紛争予防/紛争解決、②疾病予防と治療、③水と衛生、④母子の健康、⑤基本的教育と識字率向上、⑥経済と地域社会の発展、⑦環境の保護をあげ、事例報告では、横須賀ロータリーのVTTの活動などが好例として示されました。

また、平和フェローと財団奨学生制度についても説明があり、ロータリー平和センタープログラムでは世界で8校の提携大学があり、日本の国際基督教大学がそのうちの1つで、修士課程プログラムを行っているとのこと、2780地区もホストエリアとなっております。

最後に、財団寄付の目標と推進として、ポリオプラスソサエティ、ポールハリスソサエティやロータリーカード活用の説明があり、ロータリー財団の目標として財団で200ドル/人、ポリオ40ドル/人、寄付ゼロクラブゼロの達成が示されました。引き続き次年度も年間2万円+αの寄付をよろしく願います。

◇米山奨学部門 曾我宗光 会員

ロータリークラブでは、卒業された米山奨学生が集う同窓会組織を「学友会」と呼んでおりますが、まず分科会の冒頭では、年に1回開催される学友の集いの模様がビデオ映像によって紹介され、その詳細については分科会の最後に戸張雅仁・年度米山奨学副委員長から説明がありましたが、コロナ禍を経て久しぶりの対面での開催ということで、非常に活気ある会場での様子を映像として見ることができました。

続いてこの分科会のリーダーであります脇洋一郎パストガバナー、そして柚木裕子・米山記念奨学会事務局長から「米山奨学事業と危機管理」についての説明がありましたが、特に米山奨学事業は国籍・人種・文化などバックグラウンドの違う人間同士が関わりをもつ事業なので、ロータリアンはそのような多様性について深く理解をした上で奨学生と接することが非常に大切であるということを強調されておりました。

そして、分科会の後半では、齋藤秀人・次年度米山奨学委員長から米山奨学事業の概要と年間スケジュールについての説明があり、会は終了となりました。

◇ラーニング部門 山下和男 会員

私は ラーニング部門に会長エレクトとして出席してまいりました。

地区からは 田中賢三PGをリーダーとして、当クラブの田辺一三会員、藤沢湘南RCの市川洋会員、相模原橋本RC奥田経男会員が各サブリーダーとして出席されておりました。

最初の20分間、田中賢三パストガバナーからロータリー全体について理解をするためということでお話がありました。

マイロータリーをはじめ、WEB上にあるロータリーについて情報得ることができるURLを紹介いただきました。

その後、8名ほどのグループに分かれ それぞれディスカッションを行い、グループごとにその内容を発表いたしました。

このプログラムに出席して印象的であった点を述べます。

まず、田中PGのお話の中で、ロータリーの価値観で大事なことは「寛容」であることだということでした。「何事にも寛容という点が大事」本当にそう感じました。どうか皆様「寛容」で行きましょう。

また、グループ討議の出席者から、今ロータリーは変革期である、若い人と古参会員の価値観が異なる、それはロータリーへ求めているものが異なるということになる、そこを踏まえギャップができないように価値観、活動方向をよく吟味して魅力あるロータリーにしていかなければというお話が印象的で、「大変だなーこれから」と思いました。

ちなみに、「話が下手な会長は魅力ないよな」という出席者の中からのつぶやきが、私の心に刺さり、その後体調が急激に悪くなり、後半の全体会議を欠席させていただきました。

大変有意義な部門別プロジェクトに出席させていただきありがとうございました。

◇新会員部門 権田理司 会員

萩原英恵会員とともに、新会員部門に出席いたしました。佐藤祐一郎PGをリーダーとする研修においては、「ロータリーの目的」「5つの中核的価値観」「五大奉仕部門」「ロータリーの仕組み」「ロータリー財団」などについて解説をいただき、また「ロータリーの楽しみ方」「国際奉仕の実施例」「ロータリーのレガシー」などについて多数のエピソードを紹介していただきました。

ロータリーの基礎を知り、またロータリーの魅力を知るための良い機会となりました。特にその中でも、「ロータリーに参加する目的のひとつは、信頼できる仲間をつくることである」という佐藤PGリーダーのお話については、まさに今回ホストクラブとして、皆で地区研修・協議会の準備に取り組んでいた横須賀ロータリークラブの会員の姿とも重なり、実感することができました。

今回の研修内容を活かして、私もロータリーで多くの仲間をつくり、また自分自身も信頼される仲間の一員として認めていただけるよう努力してまいりたいと考えます。

◇幹事部門 兼城毅 会員

「クラブ幹事に求められること」「クラブ幹事の役割と責務」をテーマに地区リーダー・サブリーダーのご経験を基にしたお話は実態に沿いとても参考になりました。一言で言えば、「クラブに関する全ての掌握」をすることとあり、1年間のクラブ運営への携わり方や管理面でのケアに至るまで当然のごとくその内容が多岐にわたることを再認識いたしました。

さまざまな知識を有していること、環境を整備しておく事前準備も大切です。具体的にはクラブ定款、定款細則を読み込み、理解度を深めルールや手順を理解しておくこと、マイロータリー登録を通じ会員状況の確認がスムーズにできる状態にしておくことなど、いくつかの成功ポイントを共有いただきました。

次年度に向け三役、理事役員、委員長、SAA、事務局の三宅さんとの連携を深め、会員皆様に喜んでいただけるよう努めます。皆様からのご協力も賜りますようお願い申し上げます。

<閉会・点鐘> 13:30 藤村 会長

週報担当 小澤 長幸